



新年のご挨拶

目黒ユネスコ協会 会長 爲季 繁

新年あけましておめでとうございます。みなさま、おそろいで良いお正月をお迎えになったことと拝察申し上げます。令和4年です。何か新しい良いスタートの年になることを期待します。

現在、世界では、オミクロン株の拡大等もありコロナ禍が続いており、日本でも第6波の恐れがあるといわれて気が抜けない状況です。

そのような中、目黒ユネスコ協会では、最近、ワクチン接種が進みコロナ禍が少し落ち着いてきていることを踏まえて、ボランティアの方々が意欲的に活動されています。昨年から継続している語学教室、日本語教室に加えて、11月には、親子伝統文化教室や2年に一度のユネスコ美術展を開催しました。1～3月には、書き損じはがきの回収、文化講座2つ、理数教室、こどもまつり、国際交流ひろば、美術教室など具体的計画が進められています。もちろん、

人数制限、マスク、手洗い、換気、などの感染予防対策を十分とることが前提ですが、これらの計画が何とか実現できることを心から祈っております。

また、日本の経済社会の動きを見ると、リモートワークや、オンライン講座、ユーチューブ配信などのインターネットを通じて仕事をこなす風潮は、そのメリットもあり、コロナ後にも継続する勢いです。

目黒ユネスコ協会も、対面活動を主体としながらも、これらの技術を活用して、時代の変化に対応した活動をしていきたいと思っています。すでに、色々な活動の中で、これらの技術になじんでいる方々多いのではないのでしょうか。さらに、新しい人材にも加わってもらい協会の力を拡充していくことが求められています。今年も明るい笑顔で精いっぱい頑張りましょう。(了)

文化庁伝統文化親子教室助成事業 伝統文化としての折り紙の体験

主催：NPO 法人目黒ユネスコ協会 後援：目黒区教育委員会
日時：2021年11月6日～12月4日 土曜/全5回 14:00～16:00
会場：緑ヶ丘文化会館 参加20名
講師：馬場園 愛恵氏 日本折り紙協会公認講師



昨年度に引き続き、今年度も「日本折り紙協会」の馬場園愛恵先生のご指導のもと、楽しいひと時を過ごしました。今年はコロナの影響で、椅子の間隔の確保、消毒の徹底といった感染予防を行いながらの開催でした。参加者は1・2年生中心で、回数を重ねるごとに参加者同士の仲も良くなり、和気あいあいとした雰囲気ながら真剣に取り組みました。

題材は、1回目：熊手、2回目：パンダ、3回目：となりのトトロ、4回目と5回目は、クリスマスのリースとサンタでした。「折り紙は簡単だったけど、(台紙に)貼るのが大変だった。」

「前回も参加したから折り紙には慣れているんだ。」という声が聞かれました。折った人の個性が反映され、同じ材料で作ったとは思えないほど多種多様な作品が出来上がり、子どもたちの独創性には驚かされるばかりでした。最後に作品と一緒に全員で記念写真、子どもたちの、ちょっと自慢気で満足そうな笑顔が印象的でした。

江戸時代には庶民に親しまれるようになった「折り紙」。この伝統が子供たちの手を通じて引き継がれていくことに期待しています。

広報 遠藤 裕子

目次・新年のご挨拶・折り紙教室/1P、美術展・全国大会/2P、
フランス語教室・TEATIME/3P、お知らせ/4P



第 56 回ユネスコ美術展 「心に地球を」

2021 年 11 月 24 日(水)～28 日(日) 目黒区美術館区民ギャラリー

目黒区立五本木小学校 教諭 鈴木陽子氏

五本木小学校は 2011 年にユネスコスクールとなりました。学校内に目黒ユネスコ協会があるという、何とも恵まれた環境にあります。ユネスコ協会の方々には大変お世話になっています。3・11 や豪雨災害などの募金活動に何度も参加させていただいた子どもたちは、たくさんの体験的な学びの機会を得ています。

本校の子どもたちがこの美術展に参加させていただくのは 8 回目になります。今回も、会場に展示された作品からは、表現者のたくさん声や思いが聴こえてくる、いのちにぎわいにあふれていました。

今年は 3 年生が「大地のおくりもの」という図工の授業で表した作品と土を展示しました。自然の土をほんのひとにぎり採取し、天日に干し、ふるい、ガラス瓶に詰めて鑑賞しました。子どもたちから、「大地の土はなぜみな色がちがうのだろう。」という問いが生まれます。その土に糊を混ぜて、絵の具にして表してみながら土のよさや面白さ、不思議さを感じ取りました。

そしてこの授業の中で、無農薬、無施肥で美味しい枝豆をつくる、山形県の枝豆農家さんの土への思いにも傾聴しました。子どもたちは「大地の土はなぜいのちを生み出すのだろう。」という新たな問いをもちました。自然を慈し



写真右：鈴木陽子先生

み、生かされている大地に想像をたなびかせ、心に地球をもてる人になってほしいと願った取り組みです。

この取り組みに関心を持たれた会場の観覧者とそのお孫さんと一緒に、土のこと、作品のプロセス、感じたことなどをお話しながら交流をすることができたのは、何より嬉しいことでした。

美術は形や色などを介して、ここにあるものを手掛かりに、ここにはないものを想像することが出来ます。試行錯誤して新しい世界や自分をつくりだしていきます。美術は世界共通の言葉でもあります。

目黒ユネスコ協会、未来を担う気仙沼の子どもたち、目黒区の子供たちが、美術を通してつながり、戦争や紛争のない平和な世界を築き、心に地球をもち続けていくことをめざすこの展覧会は、とても大きな意味や価値あるものだと思います。

付記/ 祝 目黒区立五本木小学校は、2021 年開校 90 周年を迎えられました。



UNESCO 加盟 70 周年 第 77 回日本ユネスコ運動全国大会 in 大阪

いのち輝く持続可能な世界を未来に繋ぐ～大阪から世界へのメッセージ～

2021 年 12 月 5 日(日) 桃山学院教育大学エレノアホール

主催：近畿ユネスコ協議会・日本ユネスコ協会連盟



2020 年の全国大会(宇部)は中止だったが、今大会は、近畿圏の会員のみ会場参加で、その他は YouTube 配信での開催となった。ビデオメッセージで、山中伸弥教授(京都大学 IPS 細胞研究所所長)は、IPS 細胞を使った感染症他の医療現場への貢献や、健康寿命をのばすため、地道に研究を進めたいと述べられた。また東日本大震災から 10 年、気仙沼(菅原昭彦氏)からのメッセージが紹介された。

パネルディスカッションでは、「誰ひとり取り残さない社会の構築」と題して、重度身障者で詩人、昨年肺炎をこじらせ声まで失った息子を、抱きかかえた母親が、この子の命をなんとしても守りぬくと、笑顔で、決意を訴え、心に残った。その他、青年活動発表など、様々な学びを頂いた全国大会だった。2022 年度は千葉県木更津開催。その頃にはコロナが収まって対面での開催を期待したい。理事 斉藤 眞澄

語学教室紹介

初級 フランス語教室

講師:秋枝シュザンヌ先生 水曜日 10:30~12:00 目黒区民センター研修室

2019 年秋に、区の受託学級として開始し、2020 年 4 月から自主クラスになりましたが、緊急事態宣言の為、いきなり休講の試練に遭いました。

2020 年秋からやっと自主クラスが開始するも、2021 年の 4 月下旬からまた緊急事態宣言で中断、辛い我慢を乗り越えて、宣言解除後の今も、マスクと検温、全ての除菌などを行いながら、学習者の協力と熱意により、継続及び発展してきています。(文字通り sustainable development です)

講師は、複数の大学でも長年教鞭をとってきたヴェテランで、参加者の希望やレベルに合わせて授業のカリキュラムを組み、今は【Amicalement plus】のテキストを中心に進めています。また同時並行的に、NHKラジオの



「まいにちフランス語」、応用編も学習しています。

ベルギーの劇作家、モーリス・メーテルランクの劇を原作とする、クロード・ドビュッシーのオペラ『ペレアスとメリザンド』Pelleas et Melisande の台本

全体を 48 回(6 か月)に分けて読み通す、という新しい世界にも挑戦しています。

このオペラは 1941 年の録音という古いものですが、現代とほぼ変わらない会話体で書かれていて、語彙も平易で、フランス語初級者でも読み通せる事から、授業以外のサブメニューとして参加者全員楽しんでいました。コロナ禍で、制約の多い中ですが、少しでもユネスコらしく国際的な言語と文化に触れて、無理のない地道な活動となっています。

世話人 山田 峰子

「TEA TIME」

目黒区立五本木小学校 開校 90 周年 学習発表会

児童会のテーマ「学んだことを思いにかえてつたえよう 届けよう」

2021 年 11 月 19 日(金)児童鑑賞日

11 月 20 日(土)保護者鑑賞日

5 年生の演目「たずねびと」

5 年担任 鈴木恵美教諭・野間大督教諭



学習の成果を発表することで学びを深める【学習発表会】。今年度、5 年生は国語の物語文【たずねびと】を基として、発表内容をみんなで創っていきました。実行委員を中心として立てためあては【伝える】こと。

【たずねびと】は、今を生きる 11 歳の【楠木 綾】が、約 80 年前に生きていた 11 歳の【楠木アヤ】の存在を【原爆供養塔納骨名簿】に見付け、広島に【楠木アヤ】を探しに行くことから始まる。たった一発の爆弾により、14 万人の命が奪われた事実。「あなたは、知らなかったの。」と問いかけてくる様々な展示物。今も遺族の知り合いを探し続けるおばあさん。現在の【綾】が、様々な出会いを通して、戦争の悲しみを知っていく物語です。

子ども達が発表した構成は、大きく3つ。物語の内容を、子ども達が演じることで伝える劇部。「広島の被害」や「今も存在する世界の紛争」、「今の自分にできること」を子ども達が調べ、伝える発表部。そして、平和への思いを込めた「ハナミズキ」全員合唱の3つでした。

SDGs16「平和と公正を全ての人に」どこに生まれるかで運命が決まっていけない。悲しい過去を知り、たくさんの今の悲劇を知り、今、この日本に生まれた自分たちでできることは【忘れない・伝えること】。戦争から約 80 年。11 歳の今を生きる五本木小の子ども達が、真剣に過去と向き合い、【伝えなかった】思いは、【戦争のつらさと悲しみ、平和の大切さ】でした。子ども達の声には、それらの思いや願いが入っていたと確信しています。「今できることを」子ども達と一緒に、これからも考え続けていきたいと思っています。

～新型コロナウイルス感染防止のため、ご了承ください！～

恒例事業の【新年会】は中止になりました。また、1月以降の活動も、延期および中止になる場合があります。ご理解の上ご了承ください。最新情報は当協会のHPでご確認いただけます。

★ユネスコ文化講座Ⅰ「世界遺産はこうして始まった」

日時：2022年1月22日(土) 14:00～16:00

場所：緑が丘文化会館

講師：須磨 章氏 (NHK 文化教室講師)

受付開始：12月15日(水)・受付締切1月15日(土)

定員：50名 (参加費無料)

★ユネスコ文化講座Ⅱ「江戸川乱歩の生涯」

日時：2022年2月5日(土)10:00～11:30

場所：中目黒 GT プラザホール

講師：平井 憲太郎氏 (乱歩のお孫さん)

受付開始：1月15日(土)・受付締切：1月31日(月)

定員：60名 (参加費無料)

申込Ⅰ&Ⅱ共通：ハガキ・FAX・当協会 HP 申込フォームから、講座名・住所・氏名・電話番号・同伴者の氏名を明記。

*応募多数の場合は抽選。

★美術教室

日本画の原点といわれる中国工筆画を学ぶ

日時：2021年2月4日～3月11日(金)

14:00～16:00 (全5回)

会場：緑が丘文化会館

費用：4,000円 (材料費)

講師：林 裕紀子氏 (画家・東洋美術学校講師)

募集人数：12人(目黒区在住・在勤・在学者優先)

締切：1月25日(火)

申込方法：往復ハガキで講座名・住所・氏名・年代・電話番号を記入し事務局までお送りください。応募多数の場合は抽選になります。参加者決定後返信ハガキにてご連絡します。詳細は同封のチラシをご覧ください。

区報1月15日(土)号に募集掲載

■《書きそんじハガキ回収キャンペーン》

～ユネスコ世界寺子屋運動～

2022年1月17日(月)～28日(金)

今年度も書きそんじハガキの回収を行います。書きそんじハガキがございましたら目黒区内小中学校、区内施設、本協会事務局に設置した回収箱へお願いいたします。回収した「書きそんじハガキ」は切手などに交換し日本ユネスコ協会連盟を通じ世界寺子屋運動に寄付します。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

★国際交流ひろば「ふろしき再発見」

“包む文化を見直そう”

— 講演及びワークショップ —

日時：令和4年3月12日(土) 14:00～16:00

場所：緑が丘文化会館

講師：京都「むす美」山田悦子氏

参加費：1000円 (含む/風呂敷代) 定員：30名

対象：16歳以上の目黒区在住・在勤者 及び外国人

申込み：受付開始 3月1日(火)先着順

Fax 又はメールに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記

問合せ先：目黒ユネスコ協会 (担当濱岡)まで

主催 目黒区教育委員会 主管 NPO法人目黒ユネスコ協会

■ 新入会員 どうぞよろしく！(敬称略) ◇平野由紀子

活動日誌 11月～12月

- 11/6(土)文化庁親子伝統文化教室折り紙(小学生対象)全5回
- 11/10(水)発送連絡会
- 11/14(日)第4回理事会 ●11/24(水)～28(日)ユネスコ美術展
- 12/5(土)全国大会 in 大阪 Zoom 開催

1月以降の予定

- ▲1/11(火)日本語教室 2021 冬期教室開始
- 1/12(水)発送連絡会
- 1/17(月)～1/28(金)書きそんじハガキ回収キャンペーン
- ★1/22(土)ユネスコ文化講座Ⅰ
- ★2/4(金)美術教室工筆画 (全5回)
- ★2/5(土)ユネスコ文化講座Ⅱ ■2/6(日)運営会議
- 2/20(日)ユネスコ子どもまつり ●2/23(祝水)都ユ連研修会
- ★2/27(日)理数教室ロボットプログラミング教室
- ★3/12(土)交流ひろば(風呂敷)
- 3/27(日)第5回理事会
- 自主語学教室5講座 (仏2・英2・独1)

- 目黒ユネスコ協会主催
- 目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業
- ▲ 目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業
- ★ 目黒区教育委員会からの受託事業



『目黒ユネスコ協会』で検索！
最新情報もHPからどうぞ！

【編集後記】

コロナ禍ではありますが『ユネスコ美術展』『折り紙教室』『語学教室』など開催され、徐々に日常が戻ってきたように感じ嬉しく思っております。皆様のご協力のもと無事にショートニュース354号を発行することができました。私と目黒ユネスコ協会との出会いが『交流ひろば』葦山反射炉と三島スカイウォーク日帰りバスツアー』で、入会は昨年春です。初めての広報取材は、受託イタリア語講座の写真撮影でした。学びながら頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。 太田優枝